

新たな視点に基づく薬物乱用防止普及啓発活動の展開

北多摩西部保健医療圏

実施年度	開始 平成25年度 終了（予定） 平成27年度
背景	薬物事犯は、暴力団等による組織的な密輸・密売、インターネットを利用した密売の横行などにより複雑化、巧妙化している。また、若者による薬物乱用は、薬物に対する正しい知識等が不十分で好奇心から手を出してしまうケースも多く、特に青少年に対しては、できるだけ早い時期から薬物乱用防止に関する啓発活動を行うことが重要である。
目標	薬物乱用防止地区協議会等と協力しながら、参加賞の配布や各地区優秀賞等への受賞記念品の贈呈などを介して、薬物乱用防止ポスター・標語への参加を促進することで、中学生等をはじめとする青少年に対する薬物乱用防止普及啓発活動の強化を図る。 各地区イベント時の薬物乱用防止地区協議会等の活動を充実するための支援に努める。
事業内容	- 啓発グッズの作成と印刷機貸し出しのアピール - 平成26年5月に地区薬防協事務局との連絡会を開催した。 - 印刷機「なんでもくん」の活用 - 平成26年10月 武蔵村山地区協議会 定規500個、ボールペン500本、蛍光ペン500本 - 平成26年10月 国立地区協議会 ボールペン800本 - 平成26年11月 立川市協議会 定規2,450個、ボールペン500本 - 平成26年11月 東大和地区協議会 定規521個、蛍光ペン400本 ほか - 平成26年12月 国分寺地区協議会 定規500個、ボールペン500本、蛍光ペン500本 - 針なしホチキス各地区25個 - 乱用薬物模造標本・新薬物標本、視聴覚資材の貸し出し - 立川市民祭りイベントでの貸し出し - 武蔵村山市民イベント及び薬防協会員の講習会での模造標本の貸し出し
評価	- 各地区協議会の啓発活動への支援を行うことができた。 - 印刷機貸し出しのアピールを行ったことで貸し出し依頼があり、独自の啓発グッズの作成に寄与することができた。 - ポスター・標語への参加賞、優秀賞等への記念品贈呈を行ったことで、標語については前年度より多くの応募があり、学生への薬物乱用防止に対する意識づけの向上の効果が表れた。
問い合わせ先	東京都多摩立川保健所 生活環境安全課 薬事指導係 電話 042-524-5171（代表） ファクシミリ 042-528-2777 E-mail S0200165@section.metro.tokyo.jp

はじめに

多摩立川保健所では、これまでも各地区の薬物乱用防止推進協議会（以下、「薬防協」という。）等と連携し、青少年に対する薬物乱用防止普及啓発活動を推進してきた。

近年、スマートフォン等の普及に伴い、中高生がネットを通じ危険ドラッグ等に関する有害な情報に触れる機会が増加しており、誤った認識により犯罪に巻き込まれる危険性が高くなっている。

そのため、これまで以上に薬物乱用防止普及啓発活動を充実していく必要があると考え、当保健所では3ヵ年計画で、新たな視点に基づく薬物乱用防止普及啓発活動を開始した。

26年度の実践

*事業内容

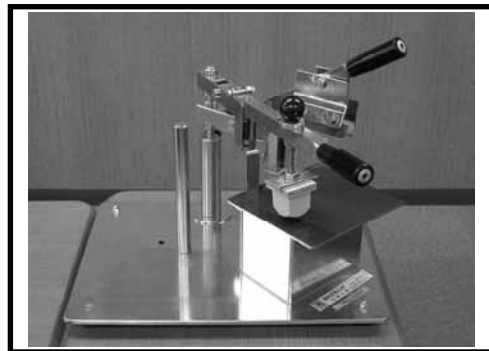
1 印刷機「なんでもくん」の活用

健康安全部薬務課では、平成10年から都内在住の中学生及び在籍者を対象として、青少年に自ら問題意識を持たせ、各種啓発活動への積極参加を促すとともに、事業の成果として得られるポスター・標語について、啓発用資材に活用することを目的としてポスター標語事業を展開している。ポスターについてはパネル化し啓発活動に活用するなどしているが、標語については、あまり活用がされていない傾向にある。

標語の活用について検討した結果、ボールペン等の文具等に標語を印刷し、配布することにより、生徒の身近に標語がある環境を作り出すだけでなく、標語の応募者増にも寄与できる。

しかし、文具等への印刷経費は、多量に注文すれば単価が低くなるものの、少量多種となると手間がかかるため単価があがり高くなってしまう。そこで、少量多種でも印刷経費を安価に抑えるため、自分で製版から印刷までを行うことができる印刷機「なんでもくん」を購入することとした。

平成25年4月に当保健所で購入した「なんでもくん」を薬防協をはじめ各市、関係団体等へ貸与し、新たな啓発グッズ作成の一助としてもらうことで各団体の活動の幅を広げてもらおうこととした。



2 啓発グッズの作成・配布及び利用のアピール

各関係団体等に「なんでもくん」を活用したグッズの作成をアピールするため、活用見本としての保健所名入りのグッズを作成した。作成したグッズを多摩立川保健所管轄の 6 市薬物乱用防止推進地区協議会事務局の連絡会等において各市担当者に配布し、「なんでもくん」の無料貸出についてのアピールを行った。

従来、グッズとしては、ボールペンを想定していたが、他にラインマーカー、定規、針なしホチキスなどをグッズとして印字し作成した。

☆ 主な配布先等

- ・平成 26 年 10 月 武蔵村山地区協議会
定規 500 個、ボールペン 500 本、蛍光ペン 500 本
- ・平成 26 年 10 月 国立地区協議会
ボールペン 800 本
- ・平成 26 年 11 月 立川市協議会
定規 2,450 個、ボールペン 500 本 ほか
- ・平成 26 年 11 月 東大和地区協議会
定規 521 個、蛍光ペン 400 本 ほか
- ・平成 26 年 12 月 国分寺地区協議会
定規 500 個、ボールペン 500 本、蛍光ペン 500 本
針なしホチキス各地区 25 個

3 「薬物乱用防止ポスター・標語」募集事業における受賞記念グッズの作成・配布

毎年、福祉保健局健康安全部薬務課が薬物乱用防止各地区協議会を通じて中学校に募集している「薬物乱用防止ポスター・標語」において、応募数の増加を図るために「薬物乱用防止ポスター・標語受賞記念」の文字入りのグッズを作成した。作成したグッズを多摩立川保健所管轄の 6 市薬物乱用防止推進地区協議会事務局を介して、各地区の受賞者に記念品として贈呈した。

受賞者からは喜びの声をいただいております、ボールペンや定規などを参加賞として学校に配布した地区もあり、来年度の応募数の増加も期待できる。なお、標語については、4 市で昨年度より応募が増加した。



4 関係団体への作成支援及び貸出事業

昨年、各関係団体等に「なんでもくん」を活用したグッズの作成と無料貸出についてのアピールを行ったが、1団体への貸し出しに留まってしまった。

そのため、今年度は、保健所が管轄する6市の薬物乱用防止推進地区協議会事務局への利用に向けた取り組みとして年度当初に事務担当者会を臨時開催しアピールを行った。

その結果、各地区協議会事務局から「なんでもくん」の借用の依頼があり貸し出した。貸出にあたり、実演しながら使用方法を含めた注意事項等について説明を行うなどの作成支援を行った。



5 啓発資材の貸出支援事業

小中学校での薬物乱用防止講習会等におけるより一層の理解の一助とするため、乱用薬物模造標本や最新内容の視聴覚資材を薬物乱用防止6市連絡会において情報提供した。立川市協議会研修会及び武蔵村山地区協議会において展示及び使用し、今後の普及啓発活動への利用を勧めた。



今後の課題

1 関係機関との連携強化

「なんでもくん」の有効活用を図るため、薬防協だけでなく、薬剤師会、教育委員会等の関係機関と連携を図り、薬物乱用防止啓発活動を充実させる。

例えば、学校薬剤師、薬物専門講師などが講師を務める学校や地域等で開催する薬物乱用防止教室において、児童・生徒らへ薬物乱用防止の標語等をキャンペーングッズなどに印刷して配布し、それを通して児童・生徒らが薬物乱用防止教室をより記憶に残るように印象付けさせる。

2 普及啓発活動への積極的支援

今後、学校、市、薬防協、地区薬剤師会などにグッズとともに印字機を貸し出し、各関係機関が行う薬物乱用防止啓発活動を支援していく。

具体的には、薬物乱用防止ポスター・標語募集の優秀作品をグッズに印刷し、受賞校の対象学年又はクラス生徒に配布する。また、薬と健康の週間に行われる各薬剤師会の地区イベントにおいて配布するキャンペーングッズ等に薬物乱用防止の標語等を印刷するなどし、薬物乱用防止の周知啓発をより進めていく手段としていくこととしている。

3 簡易作製キットの作成

「なんでもくん」による印刷により少量多種への印刷が安価にできるようになったが、本体重量12kg、大きさは約40cm四方あり、印刷を行うにもそれなりの作業スペースと労力が必要である。数十個単位の作製となると設置から片付けまでの作業が意外と億劫になってしまう。そこで、もう少し簡易に印刷作業ができる簡易作製キットを自作することとしている。